

忠長卿一附属せしむ寛永の御奉

あるに後湯家人家子列家

大猷院殿に侍る寛永の御奉

なほ家寛永十一年四月九日家

四十二家として死す家法名常之家

嗣子家よりして送跡絶家つる家

版河

新田の平盛家信と新田の盛家之家三男

なり武藏家の生る家よりめい名い兵十市

より慶長十の年より

台徳院殿家に侍る家の御奉家大

番家の列なり米北二百石と揚家の御奉家同

十九年大坂陣家に侍奉家の御奉家の

夏陽陣家に侍る家の御奉家の御奉家

其後

大猷院殿よりけりてふまの里寛永

寛永十年新恩二百石を授けし常陸

國鹿嶋郡まほよりけりてふまの里

知りし家同十の年六月十六日四十

二筆よりて死して法名は金鋒とあり

其子新左衛門直信も成親の子生れしあり

去十市より寛永実遠野勘二市弘保

二里あり直信も養ひ家寛永八年

六月廿四日十四年よりてふまの里

大猷院殿よりけりてふまの里

大番よりけりし寛永同十の年十一月遠

所よりけりし家正保三年十一月仰てうけ

て江戸より大坂よりてふまの里の道路を

換ひ慶安元年六月組立りし中

今の西城寺書院番版河
新左衛門直信の祖なり